

広 報

# みなみふらの

# 10

2019. OCTOBER No.763



- P 2～4 平成30年度決算
- P 5～7 南富良野町人事行政の運営等の状況公表
- P 8～10 まちの話題・出来事
- P 11～12 カメラレポート
- P 12 教育委員会通信
- P 13 南富高新聞・学校だより
- P 14 ほのあ
- P 15 子育て支援センター「ぷっこ」だより  
保育所の元気な子どもたち
- P 16 敬老会ご案内・寄附、寄贈

南富良野西小学校 1日防災学校(8月30日)

# 平成30年度

# 決算

まちの財政は、一般会計のほか5つの特別会計を設けて運営しています。このほど平成30年度の各会計の決算とこれに基づく健全化判断比率などがまとまりましたので、その内容についてお知らせします。

すべての会計決算は、監査委員の意見を付して去る9月18日開会の第3回町議会定例会に提出し、決算審査特別委員会に付託され、12月の第4回町議会定例会において認定の可否が審議されます。

決算は、まちづくりを進めていくうえで予算がどのように使われたのか明らかにしたものです。その内容を詳しく見てみましょう。

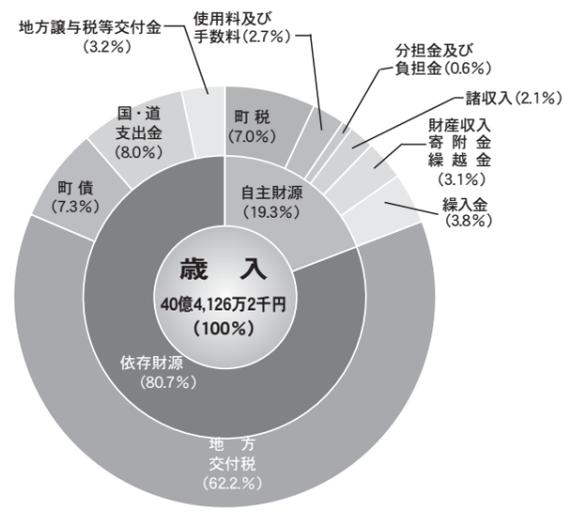
## 一般会計支出総額 39億6,266万9千円

## 5特別会計支出総額 9億5,457万5千円

### ◆一般会計歳入決算額

区 分	決 算 額	構成比	前年度比較増減
町 税	2億8,276万0千円	7.0%	△ 1,010万7千円
地方譲与税等交付金	1億2,832万1千円	3.2%	△ 102万1千円
地方交付税	25億1,388万9千円	62.2%	△ 534万3千円
分担金及び負担金	2,308万4千円	0.6%	32万6千円
使用料及び手数料	1億 829万2千円	2.7%	659万2千円
国・道支出金	3億2,291万3千円	8.0%	△ 7億6,646万0千円
財産収入	4,485万3千円	1.1%	△ 1,009万3千円
寄 附 金	1,823万8千円	0.5%	△ 1,163万2千円
繰 入 金	1億5,563万8千円	3.8%	△ 4,386万0千円
繰 越 金	6,235万4千円	1.5%	△ 3億 372万4千円
諸 収 入	8,617万8千円	2.1%	△ 3,828万8千円
町 債	2億9,474万2千円	7.3%	△ 5億 39万3千円
歳 入 合 計	40億4,126万2千円	100.0%	△ 16億8,400万3千円

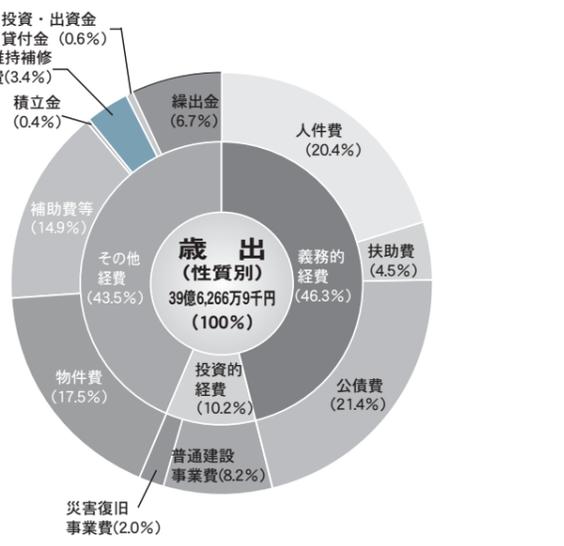
### ◆歳入構成図



### ◆一般会計歳出決算額

区 分	決 算 額	構成比	前年度比較増減
人 件 費	8億 707万3千円	20.4%	△ 39万5千円
物 件 費	6億9,142万9千円	17.5%	△ 3,661万2千円
扶 助 費	1億7,879万5千円	4.5%	897万3千円
補 助 費 等	5億8,996万5千円	14.9%	△ 7,559万5千円
維持補修費	1億3,502万2千円	3.4%	△ 2,166万7千円
普通建設事業費	3億2,579万7千円	8.2%	△ 7億3,577万8千円
災害復旧事業費	8,100万5千円	2.0%	△ 7億4,007万9千円
公 債 費	8億4,619万9千円	21.4%	3,941万0千円
積 立 金	1,621万9千円	0.4%	△ 8,638万2千円
繰 出 金	2億6,596万5千円	6.7%	△ 1,491万7千円
投資・出資金・貸付金	2,520万0千円	0.6%	2,280万0千円
歳 出 合 計	39億6,266万9千円	100.0%	△ 16億4,024万2千円

### ◆歳出構成図



### ◆収支

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減
差 引 収 支	7,859万3千円	1億2,235万4千円	△4,376万1千円

**用語解説**

- 人件費：職員給与や議員・各種委員会委員報酬などの経費
- 物件費：施設管理や物品購入、旅費などの経費
- 扶助費：老人医療助成、児童手当などの経費
- 補助費等：富良野広域連合などへの負担金および各種団体への補助金経費
- 維持補修費：道路の維持および除雪経費、公共施設の補修経費
- 普通建設事業費：公営住宅、町道整備などの公共事業経費
- 災害復旧事業費：災害復旧に係る経費
- 公債費：借入金返済金
- 借入金返済金
- 積立金：各種基金への積立金
- 繰出金：簡易水道、下水道会計など特別会計への繰出金
- 貸付金：奨学金や水洗化改造資金の貸付金
- 義務的経費：人件費などその支出が義務付けられている経費
- 投資的経費：道路、住宅などの公共事業経費
- その他の経費：義務的経費、投資的経費以外の経費

**町民一人あたりの費用額**  
160万8千円

支出総額は、39億6,266万9千円で前年度と比べて16億4,024万2千円減少(△29.4%)しています。これは、平成28年に発

また、歳入予算の6割を占める地方交付税のうち全国画一の算定方法で算出される「普通交付税」については、算定基準の見直しによる段階的な減少が終了したことから前年度並みとなりました。

町税などの自主財源は19.3%となっており、まちの財政運営は、国に大きく依存していると言えます。

**町民一人あたりの収入額**  
163万9千円

平成30年度の一般会計の決算額は、収入総額40億4,126万2千円で前年度に比べて16億8,400万3千円減少(△29.4%)しました。これは、平成28年に発生した大雨災害に係る復旧事業が概ね完了したほか、幾寅保育所改築事業や公営住宅幾寅東団地建設事業の完了による普通建設事業費の減によるもので、国・道支出金が7億6,646万円減少、繰越金が3億3,724万4千円減少、町債が5億3,933千円減少しています。

**町民一人あたりの預金残高**  
65万9千円

各会計の歳入不足を補うために積み立てている基金の残高は、平成30年度末で16億2,456万9千円

**町民一人あたりの借金残高**  
313万2千円

平成30年度末の借入金残高は、一般会計で62億9,409万1千円、特別会計で14億2,685万1千円、総額は77億2,094万1千円となっており、前年度末より5億6,267万8千円(町民1人あたり12万4千円)減少しています。

生じた大雨災害に係る復旧事業が概ね完了したほか、幾寅保育所改築事業や公営住宅幾寅東団地建設事業の完了による普通建設事業費の減によるもので、普通建設事業費が7億3,577万8千円減少、災害復旧事業費が7億4,007万9千円減少しています。

なお、財政状況のゆとりの目安となる経常収支比率は96.9%と、前年度と比べて1.5%上昇しており、依然として財政は硬直化しています。各収入額と支出額は3頁のとおりです。

### ◆町税の内訳

項 目	収 入 額	構 成 比
町 民 税	1億1,905万4千円	42.1%
固定資産税	1億3,886万8千円	49.1%
軽自動車税	688万6千円	2.4%
町たばこ税	1,755万9千円	6.2%
鉦 産 税	39万3千円	0.2%
合 計	2億8,276万0千円	100.0%

**町民一人あたりが納めた町税**  
11万5千円

町民皆さんに納めていただいた町税の総額は、前年度より1,010万7千円減の2億8,276万円となり、収入総額の7.0%の割合となっています。

なお、町税の内訳は次のとおりです。

となっており、前年度末より7,941万9千円(町民1人あたり1万1千円)減少しています。

# 南富良野町人事行政の 運営等の状況を公表します

条例に基づき、平成30年度の人事行政運営の概要の状況について公表します。

地方公務員の給与は、国家公務員などの給与に準じて定められており、本町職員の給与も、地方公務員の給与に準じて、条例などで定めています。

人事行政とは、職員の任免、給与、勤務条件など町職員に適用される基準などの全般をいいます。

なお、詳しい給与・定員管理等については、町ホームページで見ることができます。

## ① 職員の任免および職員数に関する状況

(1)新規採用状況		(2)事由別退職状況							(3)部門別職員数の状況（各年度4月1日現在）				
区分	人数	区分	定年退職	勸奨退職	普通退職	分限免職	死亡退職	合計	区 分	職 員 数		対前年度 増減数	主な増 減理由
										30年度	29年度		
30年度	4	30年度	1	0	2	0	0	3	一般行政部門	62	63	△1	
29年度	3	29年度	1	0	2	0	0	3	特別行政部門(教育)	21	21	0	
増 減	1	増 減	0	0	0	0	0	0	公営企業等会計部門	8	8	0	
									合 計	91	92	△1	
									条 例 上 の 定 数	128	128		

※9月採用2名含む

## ② 職員の給与の状況

### (1)人件費の状況（各年度普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口	歳 出 額 A	実 質 収 支	人 件 費 B	人件費率 B/A
30年度	2,465人	39億6,266万9千円	7,769万0千円	8億707万2千円	20.4%
29年度	2,544人	56億291万0千円	9,924万3千円	8億746万8千円	14.4%

※住民基本台帳人口は各年度末現在のものです。

### (2)職員給与費の状況（各年度普通会計予算）

区分	職員数 A	給 与 費				1人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末勤勉手当	計 B	
30年度	75人	2億7,804万9千円	5,678万9千円	1億1,103万3千円	4億4,587万1千円	594万5千円
29年度	78人	2億7,976万7千円	5,855万9千円	1億852万5千円	4億4,685万1千円	572万9千円

※1. 職員手当には退職手当を含みません。 2. 給与費は当初予算に計上された一般職に係る額です。

### (3)職員の平均年齢および平均給与月額

区分	平均年齢	平均給与月額	
		平均給料月額	平均給与月額
30年度	41.1歳	307,599円	345,058円
29年度	41.8歳	313,130円	369,551円

※平均給与月額とは、給料月額と諸手当（寒冷地手当、期末勤勉手当及び退職手当を除く）の額とを合計したものです。

### (4)職員の初任給の状況（平成30年4月1日現在）

区 分	南富良野町	北海道	国	
一般行政職	大学卒	180,900円	180,900円	180,900円
	高校卒	148,600円	148,600円	148,600円
技能労務職	高校卒	144,100円	144,100円	
高等学校教育職	大学卒	210,392円	210,392円	
看護・保健職	大学卒	180,700円		

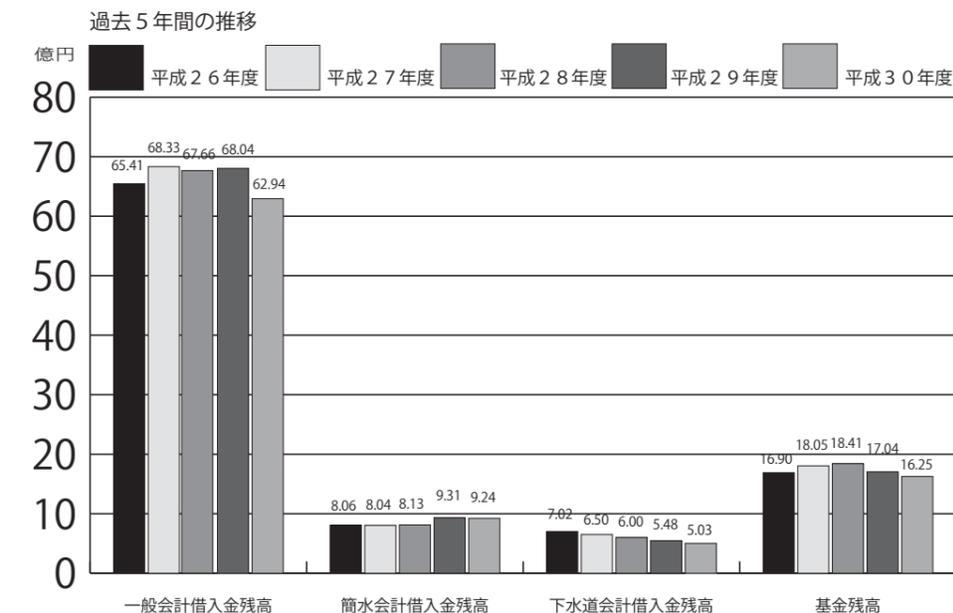
### (5)職員の経験年数別平均給料月額の状況（平成30年4月1日現在）

区 分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	213,300円	252,300円	287,400円

### (6)一般行政職の級別職員数の状況（平成30年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	定型的な業務を行う職務 相当高度の知識又は経験を必要とする業務を行う職務	11人	16.2%
2級	特に高度の知識又は経験を必要とする業務を行う職務	3人	4.4%
3級	係長の職務、主査の職務、主任の職務	19人	27.9%
4級	課長補佐の職務、主幹の職務、副参事の職務 困難な業務を処理する係長の職務 困難な業務を処理する主査の職務 困難な業務を処理する主任の職務	19人	27.9%
5級	参事の職務 困難な業務を処理する課長補佐の職務 困難な業務を処理する主幹の職務 困難な業務を処理する副参事の職務	4人	5.9%
6級	課長の職務 困難な業務を処理する参事の職務	12人	17.7%

## ◆借入金および基金残高の推移



## ◆特別会計の決算状況

特別会計名	収入総額	支出総額	差引収支
国民健康保険事業特別会計	2億8,698万8千円	2億8,656万8千円	42万0千円
後期高齢者医療事業特別会計	3,739万6千円	3,737万6千円	2万0千円
介護保険特別会計	2億8,356万7千円	2億8,055万1千円	301万6千円
簡易水道事業特別会計	2億2,772万0千円	2億2,577万5千円	194万5千円
公共下水道事業特別会計	1億2,537万4千円	1億2,430万5千円	106万9千円
合 計	9億6,104万5千円	9億5,457万5千円	647万0千円

## 平成30年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率は「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つからなり「資金不足比率」と合わせた5つの比率で、国が定めた基準と比較してまちの財政がどのような状態にあるのかを見ることができます。

これら5つの比率のうちいずれか1つでも「早期健全化基準」や「経営健全化基準」以上となった場合には、早期（経営）健全化団体となり自主的な改善努力が義務付けられます。

### 1 健全化判断比率

区 分	比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-	15.0%
連結実質赤字比率	-	20.0%
実質公債費比率	14.0%	25.0%
将来負担比率	59.4%	350.0%

※決算に赤字額がないため実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」で表されます

### 2 資金不足比率

特別会計名	比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	-	20.0%
公共下水道事業特別会計	-	20.0%

※決算に資金不足額がないため比率は「-」で表されます

このように、わが町の比率は、すべてが基準を下回っており危機的な財政状況にはなっていませんが、町税などの自主財源が乏しい状況にあることから、引き続き行財政改革による効率的な財政運営が求められています。

### ③職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1)勤務時間の状況（平成30年4月1日現在・標準的なもの）

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り				
	始業時刻	終業時刻	休憩時刻	休息時刻	週休日
38時間 45分	8時30分	17時15分	12時から 13時まで	なし	土・日

(2)年次有給休暇の取得状況

総付与日数	総取得日数	対象職員数	平均使用日数
2,286日	485日	61人	8.0日

※1 取得日数は平成30年1月1日から12月31日までの間  
 ※2 対象職員数は、一般職で途中退職、派遣は除く

### ④職員の分限および懲戒処分状況

(1)分限処分者数（平成30年度）

処分事由	降任	免職	休職	計
勤務実績が良くない場合	0	0	0	0
心身の故障のため職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合	0	0	0	0
その職に必要な適格性を欠く場合	0	0	0	0
職制若しくは定数の改廃又は予算の減少により廃職又は過員を生じた場合	0	0	0	0
刑事事件に関し起訴された場合	0	0	0	0

(2)懲戒処分者数（平成30年度）

処分事由	戒告	減給	停職	免職	計
法令等に違反した場合	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し、又は職務を怠った場合	0	0	0	0	0
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	0	0	0	0	0

### ⑤職員の服務の状況

職員の職務専念義務の免除および営利企業等の従事制限の状況（平成30年度）

区分	延べ人数
職務専念義務免除の人数	5人
営利企業等の従事許可の人数	0人

### ⑥職員の研修および勤務成績の評定の状況

(1)職員研修の状況（平成30年度）

区分	参加人数
北海道市町村職員研修センター	1人
上川町村会	25人
北海道町村会	1人
一般財団法人 北海道陸運協会	0人
職場研修会	36人

(2)勤務評定制度の概要

地方公務員法に基づき、職員の執務について定期的に勤務成績の評定を行い、その評定結果に応じた措置を講じている。

(2)健康診断の状況（平成30年度）

健康診断の種類	対象者数	受診者数
定期健康診断	82人	80人

(3)公務災害の認定件数の状況（平成30年度）

区分	件数
公務災害	0件
通勤災害	0件

### ⑧公平委員会に係る業務の状況

(1)勤務条件に関する措置の要求の状況（平成30年度）

措置要求件数	措置要求の概要
無	—

(2)不利益処分に関する不服

不服申立件数	不服申立の概要
無	—

(7)職員の手当の状況

区分	南富良野町		国	
	(平成30年度支給割合)		(平成30年度支給割合)	
期末手当 勤勉手当	支給月	期末手当 0.90月分	期末手当 0.90月分	勤勉手当 0.90月分
	6月期	1.225月分	1.225月分	0.90月分
	12月期	1.375月分	1.375月分	0.95月分
	計	2.60月分	2.60月分	1.85月分
加算措置	職制上の段階、職務の級等による加算措置あり		職制上の段階、職務の級等による加算措置あり	
退職手当	(支給率)		(支給率)	
	勤続年数	自己都合 勤奨・定年	自己都合 勤奨・定年	勤奨・定年
	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	20.445月分
	勤続25年	28.0395月分	33.27075月分	29.145月分
	勤続35年	39.7875月分	49.709月分	41.325月分
	最高限度額	47.709月分	49.709月分	49.59月分
加算措置	その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置 (2%~45%加算)		その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置 (2%~45%加算)	

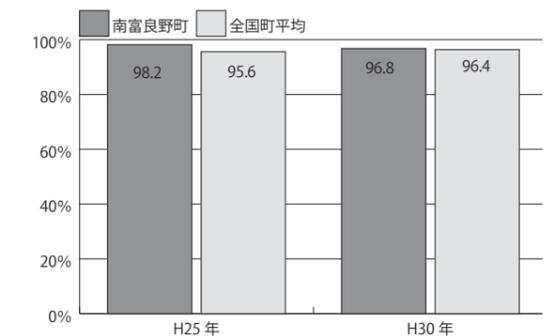
区分	内容および支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容
扶養手当	配偶者：6,500円 父母：6,500円 子：10,000円 満16歳から満22歳の年度末までの間にある子1人につき5,000円加算	同	
住居手当	住宅所有者：7,000円 借家・借間に居住し月額12,000円を超える家賃を支払っている職員（限度額27,000円）	異	住宅所有者の支給額
通勤手当	交通機関利用者運賃等相当額（限度額55,000円） 自動車等使用者通勤距離に応じて（2km以上）2,000円~31,600円	同	
管理職手当	課長職：40,000円 課長補佐、主幹職：30,000円 参事職：17,000円 副参事職：13,000円	異	役職により定額
寒冷地手当	基準日に在職する職員に一括支給 ・扶養親族のある世帯主：131,900円 ・扶養親族のない世帯主：72,900円 ・その他：51,700円	異	支給方法

時間外勤務手当	30年度	支給実績	13,647千円
		職員1人当たり平均支給年額	220千円
	29年度	支給実績	17,386千円
		職員1人当たり平均支給年額	220千円

(8)特別職の報酬等の状況（平成30年4月1日現在）

区分	給料月額	期末手当
町長	710,000円	4.45月分
副町長	590,000円	
教育長	540,000円	
区分	報酬月額	期末手当
議長	240,000円	4.45月分
副議長	191,000円	
議員	161,000円	

(9)ラスパイレース指数の状況（各年4月1日現在）



※ラスパイレース指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

8月30日（金） 1日防災学校「南富良野西小学校」



南富良野西小学校がある下金山地区は、下金山断層（富良野断層帯東部）があり、町内で地震による災害が最も想定される地域であることから、児童および教員が地震発生時にとるべき行動を確認し、自分の命を守るための行動を身に付けることを目的に、1日防災学校が開催されました。

1日防災学校では、地震を想定した避難訓練を実施したほか、動画により地震災害が起きた場合の身の守り方や地図を作製し金山・下金山地区で起きる災害について調べる授業が行われ、校区内で危険な災害が起こりそうな場所を現地（黄金会館付近・東栄橋の吊り橋など）の確認を行い「気を付ける」ことを細かく地図に書き込み、災害時の危険箇所や災害時にとるべき行動などを学びました。また、昼食では災害食（カレー・豚汁など）を食べて災害時の食事について考える学習も行われました。

8月30日（金） 災害対策本部訓練

災害が発生した場合、または発生する恐れがある場合に町地域防災計画により、町民の皆さんの生命や身体、財産を保護する目的で町長を本部長に災害対策本部が設置されます。

今回、防災の日に合わせて災害対策本部訓練が陸上自衛隊、消防、駐在所など関係機関も参加し8月30日（金）に役場大会議室で行われ、災害対策本部の編成やタイムラインに基づいた避難勧告の発令などの再確認や、対策部長ごとに災害時の業務内容の説明などが行われました。



町内の農作物生育状況

令和元年産農作物作況調査実施

9月2日に町農業委員会（小林彦一会長）による令和元年産農作物作況調査が行われ、町内の農作物の生育状況などを視察しました。

この作況調査は、例年この時期に実施され、調査には高橋副町長も同行、下金山地区を皮切りに町内の主要作物が栽培されている圃場を巡回し、播種時の状況や生育状況などを各地区の農業委員から聞き取りながら、実際に作物を手に取り生育状況や品質などを確認しました。

本年は、春から夏にかけて全般的に天候に恵まれたものの、8月から9月にかけては日照不足により生育の遅れも心配されましたが、順調に生育および収穫が進み各作物とも「並」から「良」という状況でありました。

本年の主要作物の作況指数は左表のとおりです。

○主要作物の作況指数

作物名	作況	指数
水稲	105%	やや良
馬鈴薯	106%	良
にんじん	106%	良
小麦	110%	良
大麦	110%	良
たまねぎ	105%	やや良
スイートコーン	105%	やや良
そば	100%	並
てんさい	100%	並

南富良野町防災の日（8月31日）に併せ 防災訓練を実施

（1日防災学校・災害対策本部訓練）

平成28年8月に災害を経験した町は、このときの豪雨被害を町民皆さまとともに心に刻み、この経験をしっかりと未来に引き継ぐため、災害が発生した8月31日を南富良野町防災の日として指定し、8月30日に災害対策本部訓練と南富良野西小学校で1日防災学校が、8月31日に南富良野中学校と南富良野小学校で1日防災学校が開催されました。

8月31日（土） 1日防災学校「南富良野中学校」



南富良野中学校では、平成30年度の防災学習で避難所運営に関する授業の取り組みの中で、避難所である南富良野中学校が実際に避難所となった場合、生徒達は自分達に何が出来るのかというたくさんの疑問や課題が出て来たことから、今回の1日防災学校では、中学生も避難所運営に参加する訓練の実施となりました。

この訓練では、大雨の影響で幾寅地区を流れるユクトラシュベツ川の増水により避難準備が発令され南富良野中学校に避難所を開設したことを想定し、幾寅栄町の住民の方や小・中学校の保護者のほか、炊き出しを担当された町赤十字奉仕団や陸上自衛隊など約300人が参加されました。

生徒達は、避難所運営の総務・名簿・食料・物資・救護・衛生・情報広報の7班に分かれ、各班長（役場保健福祉課職員）の指示のもと、避難者の受付や避難者への情報伝達・炊き出し支援・物資の受け入れ・避難者の体調確認など、実践的な訓練を行い有事の際に自分達で出来ることについて学びました。

また訓練会場では、企業も参加し燃料電池自動車を使用した充電サービスや防災関連用品の展示や説明も行われました。

8月31日（土） 1日防災学校「南富良野小学校」



南富良野小学校の1日防災学校では、大雨の影響で幾寅地区を流れるユクトラシュベツ川の増水により避難準備が発令され、南富良野中学校に避難所を開設したことを想定し、動画による災害学習の後に南富良野小学校から避難準備を行い、避難所である南富良野中学校に避難する訓練を行いました。

避難所では低・中・高学年に分かれ、低学年児童は避難所で履物が不足した場合に新聞紙で簡単に作製出来るスリッパの工作、中学年児童は避難所が断水した場合などに、水を使わなくても汚物がパックに詰められ衛生ゴミとして捨てる事が出来る専用トイレの使用方法を学習、高学年児童は災害時の食料としてホットケーキの粉からパンケーキを作る調理方法や避難所の段ボールベッド造り体験など、児童達は体験を通じて災害時の避難所生活について学びました。

# 北海道社会貢献賞を受賞

## 川井 稔さん(71歳)

永年にわたり民生委員・児童委員として活動されております川井稔さん(金山)が、北海道社会貢献賞を受賞され、8月21日に札幌市内で開催された第69回北海道社会福祉大会において、表彰されました。

川井さんは、平成10年から民生委員・児童委員として金山地区を担当しつつ、平成16年から南富良野町民生委員・児童委員協議会副会長、平成24年から現在まで同協議会の会長を務め、ガソリンスタンドを経営する傍ら、地域の皆さんが気軽に相談できるよう常に社会奉仕の精神をもって住民の立場にたち、地域の生活課題の解決や行政との繋ぎ役として社会福祉の増進に貢献されました。

今回の受賞にあたり川井さんは「諸先輩方のご指導や家族や職場、町行政や各民生委員・児童委員の皆さんと、何よりも住民皆さんのご理解と協力により、長い間続けてこられることができたことに、大変感謝しております。」と話されていました。



川井さんは「諸先輩方

# カメラレポート

## CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。  
 皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係(☎52-2115)又はEメール(koho@town.minamifurano.hokkaido.jp)までお知らせください。



### 全道中学生軟式野球大会優勝(8月15日)

8月10日～15日に岩見沢市・三笠市で開催された全道中学生軟式野球大会において、富良野沿線の中学3年生で結成された「富良野クラブ」が優勝を果しました。

このチームには、南富良野中学校3年生の坂本大吾君(投手)・今野遙也君(内野手)・阿部悠希君(外野手)の3名が所属しており、優勝に貢献いたしました。出場した3名は「大きな大会でとても緊張したが、優勝できて嬉しかったです。」と話され、また、この大会が中学生最後の試合となるが、高校に進学しても野球を続けて行きたいとも話されていました。



### 福祉スポーツ大会で交流(8月29日)

町の主催による第45回福祉スポーツ大会が、社会福祉協議会が主幹し町民体育館で開催されました。

会場には各地区老人クラブやからまつ園およびこざくら園の施設利用者など約220名が一堂に会し、チームに分かれ交流を図りました。

競技では、ゲートリレーや靴下あわせパン食い競争、玉入れ、対抗リレーなどが行われ、参加した皆さんは真剣な表情や笑顔で競技を楽しんでいました。

開催にあたりご協力いただきました関係機関に厚くお礼申し上げます。

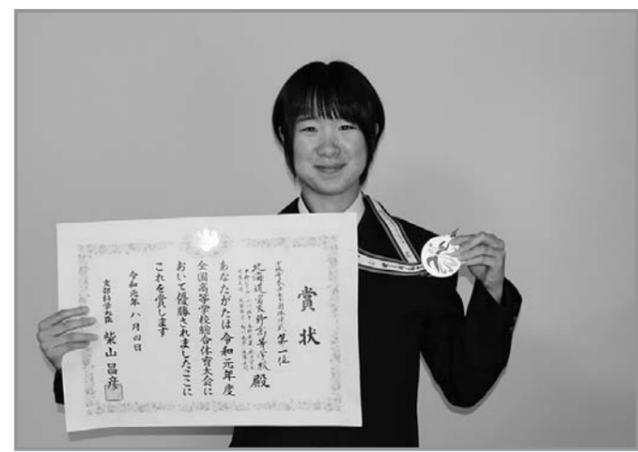
## 小川 璃子 さん 春夏連覇 !

幾寅在住の富良野高等学校少林寺拳法部3年生の小川璃子さんが、8月2日から4日に宮崎県で開催された「全国高等学校総体少林寺拳法競技大会」女子団体演舞の部において優勝し、今年の春に開催された「全国高等学校少林寺拳法法選抜大会」に続く優勝となる快挙を達成されました。

大会では、6名で構成される女子団体演舞で1名が体調不良により欠場し、控えの選手と交代しての準決勝・決勝となる厳しい状況でありましたが、見事優勝を果たしました。

今回の優勝について、小川さんは「控えで出場した後輩選手がとても頑張っていて、みんなの力で優勝でき誇りに思っています。」とチームでの優勝や後輩の成長など嬉しそうに話していました。

また、道場での参加になりますが、今年の11月に開催されます少林寺拳法全国大会で



も優勝を目指すほか、高校卒業後の進路について、大学進学を希望し、進学しても少林寺拳法の競技を続けたいと、今後の抱負や将来の希望なども話されていました。

# 全国高等学校総体少林寺拳法競技大会優勝

### 水源の森創造交流会(9月1日)

かなやま湖畔アオダモの森で、滝川市の「緑とエコ」サポーターネットの皆さんとアオダモの植樹を行いました。

今年で16回目となる本交流会は空知川の最上流域に位置する本町と水道水源として利用している下流域の滝川市が共通の認識をもち、一体となって水源の確保を進めることを目的に行われています。

また、今回の交流会ではエンジンバラ公の森を散策し、本町の自然環境等に対する理解を深めていただきました。



### ツール・ド・北海道が駆け抜ける(9月3日)

国際自転車競技連合公認の自転車ロードレースである「ツール・ド・北海道2019」が道北・道東地域を拠点に開催され、その第1ステージとして旭川市から新得町まで185kmの区間で競技が行われ、町内の幾寅地区から北落合地区を經由し落合地区を駆け抜けました。

この大会では国内外から、20チームおよそ100名の選手が参加、カラフルなウェアに身を包み時速40kmを超えるスピードで駆け抜ける自転車レースであり、沿道には地域の方や南富良野小学校の児童も応援にかけつけ、駆け抜ける選手に手を振り声援を送っていました。



平成30年度決算  
 公  
 表  
 まちの話題・出来事  
 カメラレポート  
 南富高新聞  
 学校だより  
 子育て支援センター  
 だより

# カメラレポート

## ふれあいフェスタ大いに賑わう(9月7日)

南富良野大乗会の主催による「第37回ふれあいフェスタ」が保健福祉センターみなくるで行われました。幾寅保育所園児による「よさこい」や地元アマチュアバンドによる演奏、フルートアンサンブル ラングサムと南富良野中学校生徒によるフルート演奏、施設利用者の皆さんによる「よさこい」やハンドベルなどが披露され、来場した家族会や地域の皆さんを楽しませていました。また、会場では町内外の協力団体による模擬店やバザー、農産物の販売などが多数出展され、大変な賑わいを見せていました。



## 富良野沿線スポーツフェスタ開催(9月8日)

富良野沿線スポーツセンター協議会の主催によるスポーツフェスタが開催され、本町では富良野沿線5市町村から31名が参加して、5艇のゴムボートに分かれ、落合地区の空知川およそ6kmのコースを1時間半かけて下りました。



参加者は、ガイドの指示のもとゴムボートをコントロールしたり、自然の景色を眺めたりラフティング体験を堪能していました。

## 道の駅感謝祭開催(9月14日)

道の駅を管理する(株)南富良野町振興公社が主体となり、日頃からご利用いただいている皆さんに、ありがたい思いを込めて道の駅で感謝祭が行われました。



昨年は、北海道胆振東部地震に伴う大規模停電の影響により、開催が中止され2年ぶりの開催となり、会場の道の駅では、各店舗ごとに感謝企画や、対象店舗で買い物された方への抽選会、ビンゴ大会、じゃんけん大会が行われたほか、町内の子供達によるキッズダンスの披露や、消防車の展示なども行われ、訪れた町民や観光客の皆さんを楽しませていました。

# 教育委員会通信

学校教育係・生涯学習係  
☎52-2145

## カーリング場オープン

11月1日より、空知川スポーツリンクス「カーリング場」がオープンします。南富良野町の特徴を活かしたスポーツ「カーリング」を体験してみませんか。施設の利用は、下記のとおりとなります。

- 利用期間 令和元年11月1日(金)～令和2年4月7日(火)
- 利用時間 10時00分～21時00分 ※火曜休館日
- 利用方法 事前に下記管理者へ申し込みをお願いいたします
- 用具貸出等 用具は空知川スポーツリンクスにて貸出いたしますので、管理人まで申し出てください。
- 大会予定 ゆっく南ふらのカップカーリング大会 11月24日(日)  
町長杯カーリング大会 12月中旬～
- 申し込み・お問い合わせ先  
空知川スポーツリンクス TEL 53-2449  
指定管理者 NPO法人どんころ野外学校 TEL 53-2171

# 南富高新聞

第30号  
発行  
南富良野高等学校

## 学校見学説明会

8月23日(金)、令和元年度南富良野高校見学説明会を実施しました。あいにくの雨天の中、地元南富良野中学校はもとより、遠方からも多くの中学生並びに保護者、学校関係者の方々にご参加いただきました。前半は本校体育館において、吹奏楽部によるオープニングの後、全体説明会を実施し、本校の教育活動の中でもICTの活用や本年度から導入しているeラーニング(Classi)の利



用についてご紹介したところ、会場から高い関心が寄せられている様子でした。その後の座談会では在校生が中心となって本校の特色や部活動についてインタビュー形式での発表を行い、授業見学ではICTを活用した数学や情報処理の授業、見学者自身が授業テーマにそって食事のアドバイザーを受けられる家庭科フードデザインの授業、eラーニングを活用した英語の授業、さらに放課後には部活動見学をそれぞれ展開しました。ご参加いただいた皆様には、いずれも興味深くご見学いただき、充実した時間を過ごしていただけたようであり、南富良野高校の魅力の一つでも感じとっていただけたのであれば幸いです。

## シリーズ学校だより(201)

各学校の取り組みを紹介します。

### ▶▶南富良野中学校▶▶▶



南富良野中学校は、9月8日(日)に第15回学校祭を行いました。町や町議会、町内各学校のご来賓を始め、たくさんの方の保護者、地域の皆様にご来校いただき、日頃の生徒の学習の成果をご覧いただきました。演劇や意見発表、英語発表、合唱、吹奏楽部演奏など、授業や部活動の成果を十分に発揮し中身の濃い時間となり、「成長・向上を実感する1年にしよう」という、今年度の重点目標の通り、生徒の成長を実感することができました。今後も、学校祭で得られた

成果をもとに、教職員一丸となり、生徒の成長を願い努力して参ります。学校祭後も様々な行事や学習が予定され、2学年では、「職業体験学習」を町内の各事業所等にご協力をいただき実施していきます。また、今年度より「学校運営協議会」の「ふるさと南富良野を愛する子どもの育成」という方向性の中、「林業体験」や「ガイド体験」も実施することができ、行事や学習にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

# 子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆☆明るく元気な子にそだちますように☆☆～

☎52-2315  
☎090-5985-4339

子育て支援センター

北海道の夏も終わりましたが、水あそび・盆踊り、花火など思い出はたくさんできましたか？これから秋、1日、1日、陽が短くなり、秋の夜長が始まります。ゆっくりと子どもと一緒に食欲の秋、読書の秋、芸術の秋を堪能してください。



☆移動茶話会☆

みんなで「鳥羽農園」でトマトの収穫体験☆甘くて美味しかったね♪



☆ぷっこクラブ☆

上富良野の「島津公園」へバス遠足へ！たくさんの遊具やスワンに川のお魚にも大喜びでした。



☆出張金山支援センター☆

金山保育所の園児と一緒に下金山の「島山農園」に収穫体験をさせていただきました。ミニトラクターに大興奮♪



☆育児講演会☆

「笑顔がふえる・子育てコーチング」ということで、日々の育児がもっと楽しくなるポイントを教えてもらいました！！

## 保育所の元気な子どもたち

### 幾寅保育所

9月5・6日の2日間 4・5歳児38名が、デイサービスセンターへ行き「よさこいソーラン」を元気いっぱい披露しました。踊ったあとは、おじいちゃん おばあちゃん一人一人と握手をして帰って来ました。



### 金山保育所

8月20日、保護者の方のご厚意で野菜の収穫体験とトラクターの試乗体験をしてきました。ハウスの中にはたくさんの野菜が実っていて、ナス、きゅうり、ピーマンなど美味しそうな物を見つけては収穫し、ミニトマトはその場で頬張っていました。倉庫でお弁当も食べて、楽しい1日でした！



# しょうぼう広報 ほのお

富良野消防署南富良野支署  
☎52-2119 FAX52-2979  
✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp  
災害案内 ☎52-3119

## 秋の全道火災予防運動が行われます

10月15日から31日の間、秋の全道火災予防運動が行われます。火災から身を守るため、火の取扱いや後始末に十分注意をしましょう。春季同様、消防では防火パレードをはじめ、町内施設の立入検査、模擬火災訓練などを行います。住民の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

火災から身を守る注意点を紹介しますので、ご参考にしてください。

### 火災を起こさないようにするために・・・

- ・ 放火対策のためゴミを家の周りに置かないで、指定日にすぐゴミ出しを！
- ・ コンロから離れない！コンロまわりに物を置かない！
- ・ たばこのポイ捨て、寝たばこをしない！
- ・ たき火はしない！
- ・ マッチ、ライターで遊ばない、遊ばせない！
- ・ 配線まわりの確認を！

### 火災対策のために・・・

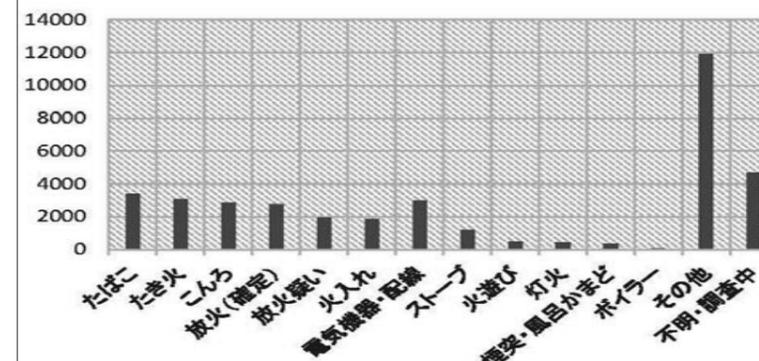
- ・ 防災品の使用を勧めます！  
【カーテン、エプロン、カーペットなど】
- ・ 住宅用消火器の備えを勧めます！
- ・ 住宅用火災警報器のチェック！
- ・ 火災が大きくなってしまった場合はすぐ避難！  
【逃げ遅れにより煙を吸ってしまうと非常に危険！】

### 平成30年火災種別(全国)

種別	件数
建物火災	20,703
車両火災	3,653
林野火災	1,365
船舶火災	69
航空機火災	1
その他火災	12,109
総火災件数	37,900

資料：消防庁防災情報室平成30年分消防年報より

### 火災原因の比率



火災そのものは前年より減少(1,473件減)しましたが、1日あたり104件であり、これは14分に1件のペースで全国各地において火災が発生している計算になります。また、火災で亡くなられた方は926人で前年より37人増加し、そのうち逃げ遅れの理由による方は498人にものぼります。

炎に巻き込まれたほか、煙を吸う影響による一酸化炭素中毒が原因であると言われています。火災を起こさないように、今一度見直しておきましょう。

令和元年度 全国統一防火標語

## 「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」



南富良野支署出動件数 (平成31年1月～令和元年8月末現在)  
救急出動 75件 (内ドクターヘリ要請件数12件)  
火災出動 4件 (内他市町村応援出動1件)  
救助出動 0件

